



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

## — あいなん音故地新 — 音楽という友だち

先日、母校である城辺小学校で音楽の授業をしてきた。5、6年生には教科書の中にあった「こげよ、マイケル」という曲を。この曲は黒人霊歌でありゴスペル(=音楽のジャンル)だ。今の子どもたちはこんな曲もやるんやね、うらやましい!私がゴスペルと出会ったのは大阪に出てすぐの18歳の頃やったよ。元々黒人霊歌は奴隷としてつれてこられた黒人が過酷な労働や生活の中で苦しみや痛み、希望や祈りなどの心の叫びを歌にしたもの。簡単なメロディーに短い歌詞を乗せてみんなで歌う。歌の中にはコール&レスポンスっていう、ひとりの人が1フレーズを歌って、それを真似してみんなが返すという場面もある。そうやってお互いに励まし合ったんよね。全校生徒とはそのコール&レスポンスに挑戦した。跳んだり跳ねたりして汗びっしょりになりながら大きな声ではしゃぐ子どもたちの笑顔が今も浮かぶ。私はゴスペルが『音楽の本来の姿』やと思うって今回はそれを子どもたちに体感してもらおうのが目的やった。少しは伝えられたんじゃないかと思う。

子どもたち!音楽は友達よ。落ち込んだときには元気をくれるし、うれしいときにはもっと大きな喜びをくれる。上手に歌えんでええけんね、間違ってもええけんね、音楽を楽しんでね、毎日を楽しんでね。

音楽の友達はいつでもどこでもそばにおって、いつだってあなたの味方になるよ。  
(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

## “8月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本】(小学校低学年課題図書)

『アザラシのアニュー』

あずみ虫(作) / 童心社(発行)

寒い冬のある日、地球の北の海の氷の上で、タテゴトアザラシの赤ちゃんアニューが生まれました。アニューは、甘くて美味しいお母さんのお乳をごくごく飲みます。数日たつとお母さんは、魚をとるために海へ出かけることになりました。アニューは追いかけてしようとしますが……。



【小説】

『地雷グリコー GLICO WITH LANDMINES』

青崎 有吾(著) / KADOKAWA(発行)

勝負事に強い高校生、射守矢真兔(いもりやまと)が風変わりなゲームに挑む。誰もが知っている遊びに独自のルールを加えたゲームにユニークな登場人物。次々と強者を打ち破る真兔の、勝負の先に待ち受けるものとは……。表題作の「地雷グリコ」など全5編。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町  
ホーム  
ページ